



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	100,429	△6.2	4,542	57.4	3,970	116.3	3,110	100.4
28年3月期第3四半期	107,119	6.6	2,885	246.2	1,835	489.3	1,552	897.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,750百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 1,012百万円 (△70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	120.36	119.32
28年3月期第3四半期	60.08	59.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	129,226	59,330	45.8
28年3月期	141,694	61,460	43.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 59,164百万円 28年3月期 61,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
29年3月期	—	8.00	—		
29年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,400	△7.0	6,000	11.4	5,200	27.5	3,750	22.5	145.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	26,027,720株	28年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	182,103株	28年3月期	181,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	25,845,918株	28年3月期3Q	25,839,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日本銀行による各種経済・金融緩和政策を背景として、雇用・所得環境が改善していることもあって、緩やかではありますが景気の回復基調が続いております。世界経済では、英国のEU離脱決定によるヨーロッパやアジア新興国等の経済の先行き、中国経済の下振れ、米国の新大統領の経済政策などの影響に留意する必要があります。アメリカでは緩やかに経済成長が続いており、企業業績は底堅さが維持され雇用も増加傾向が続いております。中国では小型車減税の終了による影響が懸念されたものの、経済の安定成長のためには自動車産業の発展が必要との判断で減税の延長が決まりました。インドでは新貨幣の供給不足により消費が伸び悩んでいますが、政府が進める経済構造改革が下支えになり景気は緩やかに回復すると思われまます。

このような環境の中で、当社グループは1618中期経営計画に基づいた施策展開を着実に進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高100,429百万円(前年同四半期比6.2%減)、営業利益4,542百万円(前年同四半期比57.4%増)、経常利益3,970百万円(前年同四半期比116.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,110百万円(前年同四半期比100.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、北米市場向けを中心とした輸出は引き続き好調を維持しており、当社の受注は増加したものの、主にアルミ地金市況が大きく下落したことにより、売上高は46,222百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。収益面においては、主に生産性改善による効果等によりセグメント利益は1,857百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、ライトトラック系車種を中心とした販売が好調を維持しています。当社においても関連部品の受注がありましたが、一方で生産終了に伴う受注減少やアルミ地金市況が大きく下落したこと及び為替換算影響等により、売上高は30,789百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。収益面においては、主にメキシコ工場の生産性改善による効果等によりセグメント利益は1,531百万円(前年同四半期比74.9%増)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、昨年スタートした小型車に対する減税効果により前年を上回る販売が継続しており、当社においても関係する新規部品立上げもあり受注量が増加しました。一方インドでは、市場の低迷に加え、ニーズの変化によりディーゼル車向け部品が減少したこと等により受注量は減少しました。これらの背景の下、両地域におけるアルミ地金市況が大きく下落したこと及び為替換算影響等が影響し、アジアでの売上高は18,484百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。収益面においては、主に中国における増産効果等により、セグメント利益は772百万円(前年同四半期はセグメント利益5百万円)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は前年同四半期に比べると増加しましたが、アルミ市況変動により販売価格が下落した結果、売上高は3,222百万円(前年同四半期比15.3%減)となりました。収益面においては、原価低減活動による効果等があったものの、アルミ市況変動による利益減少要因が大きく影響し、セグメント利益は198百万円(前年同四半期比13.6%減)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件やコンピュータールーム向け物件等の受注により、売上高は1,710百万円(前年同四半期比17.2%増)となりました。収益面においては、主に増収による増益効果等により、セグメント利益は100百万円(前年同四半期比67.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ12,467百万円減少して129,226百万円となりました。主な要因は、為替換算影響等による有形固定資産の減少8,626百万円、売上債権の減少4,173百万円です。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ10,337百万円減少して69,896百万円となりました。主な要因は、借入金の減少10,133百万円です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2,129百万円減少して59,330百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,110百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加2,697百万円、為替換算調整勘定の減少5,737百万円です。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末43.3%から45.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成28年8月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505	5,096
受取手形及び売掛金	24,055	19,672
電子記録債権	2,021	2,230
商品及び製品	2,999	2,746
仕掛品	4,006	4,447
原材料及び貯蔵品	3,351	3,041
その他	3,242	2,629
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,181	39,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,434	14,945
機械装置及び運搬具(純額)	48,376	42,086
土地	5,268	5,151
建設仮勘定	7,724	7,472
その他(純額)	8,002	7,524
有形固定資産合計	85,806	77,180
無形固定資産	1,628	1,430
投資その他の資産		
投資有価証券	6,201	7,398
その他	3,875	3,354
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,077	10,752
固定資産合計	97,512	89,363
資産合計	141,694	129,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,065	12,186
電子記録債務	6,053	6,585
短期借入金	4,536	1,208
1年内返済予定の長期借入金	10,850	9,996
未払法人税等	475	546
賞与引当金	1,568	1,071
役員賞与引当金	20	—
製品保証引当金	121	98
その他	8,612	8,085
流動負債合計	44,304	39,779
固定負債		
長期借入金	27,062	21,110
長期未払金	1,671	1,661
退職給付に係る負債	2,985	3,019
その他	4,209	4,325
固定負債合計	35,929	30,116
負債合計	80,233	69,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	35,462	38,159
自己株式	△271	△271
株主資本合計	52,311	55,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,875	3,699
為替換算調整勘定	6,772	1,034
退職給付に係る調整累計額	△629	△576
その他の包括利益累計額合計	9,017	4,156
新株予約権	131	165
純資産合計	61,460	59,330
負債純資産合計	141,694	129,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	107,119	100,429
売上原価	96,154	87,745
売上総利益	10,965	12,684
販売費及び一般管理費	8,079	8,141
営業利益	2,885	4,542
営業外収益		
受取利息	13	19
受取配当金	135	146
スクラップ売却益	103	107
その他	126	156
営業外収益合計	378	430
営業外費用		
支払利息	970	676
為替差損	413	248
その他	44	77
営業外費用合計	1,429	1,002
経常利益	1,835	3,970
特別利益		
固定資産売却益	16	274
補助金収入	59	52
特別利益合計	76	327
特別損失		
固定資産除売却損	85	78
減損損失	—	23
特別損失合計	85	101
税金等調整前四半期純利益	1,826	4,196
法人税、住民税及び事業税	611	989
法人税等調整額	△336	95
法人税等合計	274	1,085
四半期純利益	1,552	3,110
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,552	3,110

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,552	3,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	824
為替換算調整勘定	△879	△5,737
退職給付に係る調整額	65	53
その他の包括利益合計	△539	△4,860
四半期包括利益	1,012	△1,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,012	△1,750
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	47,242	34,510	20,102	3,805	1,459	107,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,188	6	1,203	3,547	0	7,945
計	50,430	34,517	21,305	7,352	1,459	115,064
セグメント利益	1,787	875	5	229	59	2,958

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,958
セグメント間取引消去	△72
四半期連結損益計算書の営業利益	2,885

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	46,222	30,789	18,484	3,222	1,710	100,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,717	9	1,670	2,985	0	7,383
計	48,940	30,799	20,155	6,207	1,710	107,812
セグメント利益	1,857	1,531	772	198	100	4,459

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,459
セグメント間取引消去	82
四半期連結損益計算書の営業利益	4,542

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ダイカスト事業 日本」において処分予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において23百万円です。